

働く人の認知症サポーター養成講座のご案内

 ~認知症サポーターになりませんか!~ 

高齢化が進むことにより、認知症になる人も増え、2015年1月に厚生労働省より発表された推計値では今後10年間で認知症の人が700万人、認知症の予備軍である軽度認知障害と呼ばれる人が600万人に達すると言われています。

認知症は既に他人事ではなく、年をとれば誰にでも起こりうる身近な病気となっています。

こうしたことから、相模原市では、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、認知症についての正しい知識をもち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である認知症サポーターの養成に努めています。

認知症サポーター養成講座を受講することにより

- 従業員の方は、ご家族や身近な方に介護が必要となった場合に、正しい知識を持つことで、適切な相談や介護サービスの利用がスムーズになります。
- 高齢者の増加に伴い、仕事面でも高齢者と接する機会は増えており、認知症の正しい知識を持った従業員が増えることは、お客様サービスの向上や企業イメージのアップにつながります。

是非、この機会に従業員研修の一環として、「働く人の認知症サポーター養成講座」の開催をご検討いただきますよう、お願いします。

《働く人の認知症サポーター養成講座の内容》

- 認知症の正しい理解と対応方法について学びます。(60分~90分程度)

○認知症とは? 認知症の人との接し方について 認知症サポーターとは など

- 講座修了者は、「認知症サポーター」となり、認知症サポーターの目印である「オレンジリング」と「ストラップ」が渡されます。

* 講座の開催にあたっては、相模原市で養成した講師「キャラバンメイト」を無料で派遣いたします。

▼問い合わせ・申し込み先▼

相模原市地域包括ケア推進課 介護予防班

電話：042-769-9249

Eメール：houkatsucare@city.sagamihara.kanagawa.jp